



第12回
SDGsカフェ

1/26 (日)

14:00~16:00

農がなければ食もなし ~地域から考える都市農業の未来~

参加
無料

現在、日本の食料自給率は、カロリーベースで約37%。家畜の飼料調達に至っては、その多くが輸入に頼っているのが現状です。茅ヶ崎市においても、農家の高齢化や後継者不足、食品ロスの削減等が課題となっており、今後の持続可能な地域づくりには、農業の担い手の多様化や地産地消の推進、食農教育（食と農業の教育）が重要となっています。

今回は、市内で活動する2団体をゲストスピーカーに迎え、それぞれの実践報告から食農教育の現状と課題を学び、都市農業の未来の姿について語り合います。また、グループワークを通じて、「食と農業」の問題に関心のある市民同士のネットワークを広げます。

ゲストスピーカー

石井 雅俊さん

NPO法人ふるさとファーマーズ 代表

酒井 彩子さん

オーガニックちがさき 代表

吉野 正人さん

茅ヶ崎どっこいファーム 園主

オーガニックちがさきコアメンバー



対象 食と農に関心のある方、農業従事者、
市民活動団体、学校関係者、自治体職員等

定員 30名 (先着順) 申込期間12/1(日)~1/23(木)

会場 ちがさき市民活動サポートセンター

申込方法

詳細は裏面参照、QRコードから
も申込可能



*手話通訳・要約筆記、託児 (6か月~3歳)
ご希望の方は1/9 (木) までにお申し込みください

【主催】：認定特定非営利活動法人NPOサポートちがさき（ちがさき市民活動サポートセンター指定管理者）



NPO法人ふるさとファーマーズ

神奈川県立茅ヶ崎里山公園に隣接した約1500㎡の畑を拠点に、環境にも体にもやさしい不耕起栽培を行っています。「農を通して、街や人、地球環境の未来を次世代に繋いでいきたい」という想いを胸に、農をベースとした学校への出張授業(市内外に10校)や企業ワークショップ(大手スーパーマーケットやオーガニックソーブメーカーなど)を実施。環境保全や食の安全、社会の未来を考えていく大切さを伝えています。正会員を募集中。



事例報告

- ・NPO法人ふるさとファーマーズ
- ・オーガニッカーちがさき

2団体によるクロストーク

グループワーク

- 自己紹介、感想の共有

全体会

- ・グループワーク結果の共有
- ・ゲストスピーカーのコメント

オーガニッカーちがさき

自然、人、食。オーガニックな繋がりと暮らしを考え、支え合い、楽しむ。そんな想いを共有する仲間たちです。オーガニック農家さんと消費者を繋ぐパイプ役になれたらという思いで発足しました。環境に負荷をかけない循環型農業、地産地消を軸に、オーガニック農家さんへの援農、野菜販売などのイベント参加、オーガニック家庭菜園の普及、教育現場の菜園や食育の支援、オーガニック給食への参入のほか、上映会などのイベント開催もしています。



SDGs カフェとは？

毎回多様な分野で活動するゲストや講師をお招きし、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざして、SDGsに関わる具体的な活動実践について学びながら、参加者同士の顔の見える関係を築ききっかけづくりの場です。



お申し込みはコチラ(表面QRコードからもOK)

<第12回 SDGs カフェ 2025.1.26(日)開催>

ふりがな お名前		所属団体名	
TEL		FAX	
E-Mail			
ご希望の方は、1月9日(木)までにお申込みください。 □手話通訳 □要約筆記 □託児(生後6か月~3歳/先着3名まで)			
通信欄			

*いただいた個人情報については、当該事業で必要な範囲のみ使用します。